

三条市食育推進行動計画 進捗状況

I 【重点施策と数値目標】

施策	評価指標	策定時の値	平成 22 年度目標値	備考
朝食習慣の定着	朝食を欠食することがある人の割合	20 歳代 24.4% 30 歳代 22.1%	20 歳代 15%以下 30 歳代 15%以下	
米を主食とした日本食の実践	主食・主菜・副菜をバランスよく食べる人の割合	44.2%	80%以上	
毎日の食事に地元産の食材を取り入れた地産地消の推進	安全に配慮した野菜等を選ぶ人の割合	85.5%	100%	

◎ 評価について

次のような基準で評価し、記入してください。

- …計画を達成できた
- △ …計画は達成されなかったが、着手・進行中
- × …計画に着手できなかった

◎ 実績について

平成 21 年度計画について具体的に実績を記入してください。

◎ 平成 22 年度の計画について

平成 21 年度の実績をうけ、平成 22 年度の計画はどのようにするか記入してください。また、策定した行動計画の内容に変更がある場合も記入してください。

II 【実施主体別行動計画 進捗状況】

実施主体	取組概要	平成 21 年度				平成 22 年度
		評価	計画	実績	備考	計画
1 食生活改善推進委員協議会	ア 親子及び子ども料理教室開催	○	継続実施	地区活動で実施(4 地区にて延べ 8 回)		継続実施
	イ 親子広場における食育の推進	○	各地区 2 回実施	地区活動で実施(7 地区にて延べ 10 回)		継続実施(現在 4 地区)
	ウ 保護者対象の食育講座の開催	○	継続実施	食育講座「親子で食育」 実施日：11 月 6 日 参加数：大人 18 人、子ども 16 人	協議会主催事業	継続実施
2 栄養士会	ア 食事バランスガイドによる指導の推進	○	継続実施	会員が関わった講習会等の中に取り入れて実施した。		継続実施
	イ 食育としての健康教育推進 (幼児の保護者等への働きかけ)	○	継続実施	会員が関わった講習会等の中に取り入れて実施した。		継続実施
	ウ 地場産食材情報の活用 (講習会や職域の献立に活用)	○	継続実施	会員が関わった講習会等の中に取り入れて実施した。		継続実施
	エ スマートダイエットキャンペーン事業実施 (高校生対象 平成 16 年度から継続事業)	-	継続実施	実施要請がなく、実施できなかった		事業終了
	オ 食生活指針の普及・啓発	○	継続実施	会員が関わった講習会等の中に取り入れて実施した。		継続実施
	カ 健康日本 21・健康にいがた 21・三条市食育推進計画の推進	○	継続実施	会員が関わった講習会等の中に取り入れて実施した。		継続実施
3 健康推進員協議会	健康増進計画推進と並行し、食育に関する勉強会や講演会を、地区活動を通し実施する	○	継続実施	地域健康教室 4 回 4 会場 参加者 69 人		継続実施
4 三条市 PTA 連合会	ア 家庭教育委員会の中で食育を活動テーマとする	○	実施	研修委員会研鑽会テーマとしてチームでディスカッションを実施 意見等を発表してもらった		引き続き講演会及び研鑽会にて実施予定
	イ 「早寝・早起き・朝ごはん」のキャッチコピーを普及する	△	理事会を通して継続実施			

実施主体	取組概要	平成 21 年度				平成 22 年度
		評価	計画	実績	備考	計画
5 農業生産者 (農業担い手協 議会)	ア 安全安心な農産物の生産に励む	-	別組織に移行	個別農家対応		個別農家対応
	イ 子どもたちとの交流を進める (ア)農業体験の手伝い(学校教育田)	-	繁忙期に当たるため検討	個別農家対応		個別農家対応
	(イ)農業について語る取組	○	継続	学校給食交流会		継続
	(ウ)田んぼの生き物と環境を考える取組	×	継続	別組織対応	有機農業連絡協議会	三条まんま塾対応
	ウ 消費者との交流 (ア)地域の農産物即売会開催	○	継続	花しょうぶ祭り トキめき新潟国体		継続
	(イ)地域の農産物を利用した講習会開催	○	継続	しみん食育のつどい 農業見学バスツアー		継続
6 にいがた 南蒲農業協同組 合	ア 安全な地元農産物の確保と流通体制の整備を進める	○	継続	学校食育・インショップ等に納める生産者の更なる拡大と生産組織による生産物の流通体制の整備を図った		継続
	イ 米食の普及に努める	○	継続	毎月発行している JA 広報誌と年間 3 回発行している一般消費者向けの広報誌の中で米食の普及活動を行った		継続
	ウ 直売市の活性化及びネットワーク化を図る	△	継続	JA 内部の組織による直売市の活性化は図られたが、外部組織との連携及びネットワーク構築は実現出来なかった		継続
	エ 地産地消意識の啓発活動	○	継続	毎月発行している JA 広報誌と年間 3 回発行している一般消費者向けの広報誌により地産地消意識の啓発活動を行った		継続
7 三条商工会 議所 (食品部会)	(食品部会) ア 地産地消の推進に向け、バザーを開催し、地元食材をアピールする	-	なし	なし		「地元食材 PR 事業」を実施。時期は未定。会場はチャレンジャー燕三条店敷地内にて実施予定。
	イ 食の重要性に関する講習会実施	○	未定	食育推進室 田村室長より「食育のすすめ」で講演していただいた。		未定
	ウ 部会員の先進的な取り組みを他の部員に紹介し、今後の活動を広げる	×	食品関連企業の視察 食品見本市の視察	なし		新潟市で開催される「新潟食の陣」等の視察を予定
	(O社) 食材宅配：献立表に「食育だより」掲載	○	21 年度も継続する	毎週の献立表に掲載		継続
	お弁当事業：献立表にカロリー表示	○	21 年度も継続する	毎日の献立表に掲載		継続
	スーパー：地場産コーナー設置 ：食事バランスガイド店内掲示	○	21 年度も継続する	年数回、地元産野菜コーナー設置		継続
8 行政 (詳細別記)	※年代別行動計画にて記載					

Ⅲ 年代別行動計画 進捗状況

(1) 乳児期

項目	平成 21 年度				平成 22 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 妊婦教室における栄養指導	○	継続実施	マタニティ教室にて、母乳栄養や離乳食の開始などの集団指導（年 24 回）		パパママエンジョイ教室第 1 コースにて、母乳栄養や家族で実践できる健康的な食生活などの集団指導（年 6 回）
イ 3 か月児健康診査・10 か月児健康相談会における指導	○	継続実施	3 か月児健診にて集団指導（年 36 回） 10 か月児相談会にて個別相談（年 36 回）		3 か月児健診にて集団指導（年 12 回） 10 か月児相談会にて個別相談（年 12 回） ※三地区統合のため 36 回→12 回
ウ 親子広場での主体的な活動	○	継続実施	食生活改善推進委員が地区活動のテーマに沿った試食を提供		親子広場縮小に伴い実施検討
エ 子育て支援センターにおける食指導	○	継続実施	実施（年 26 回）		継続実施
オ 健診及び保育所担当者の情報交換会	○	実施検討	幼児健診体制について検討（3 回）		随時開催
カ 5 か月児保育者対象の離乳食相談会や調理指導会	○	4 月より毎月実施	実施（年 12 回、延 214 人）		継続実施
キ 訪問栄養相談	○	随時実施	実施（年 4 件）		随時実施
ク 7 か月児離乳食相談会	○	継続実施	実施（年 12 回、延 226 人）		継続実施
ケ すまいるランドでの栄養相談	○	6 月から毎月 1 回実施	実施（年 12 回、延 89 人）		継続実施
コ 幼児健診での栄養指導	○	1.6 歳、3 歳児健診にて個別栄養相談を実施	1.6 歳、3 歳児健診にて個別相談の実施（各 36 回／年）		1.6 歳、3 歳児健診にて生活習慣に関する集団指導及び個別相談（各 12 回／年） 2 歳、2.6 歳児歯科健診にて個別相談（各 12 回／年）

(2) 幼児期

項目	平成 21 年度				平成 22 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 保育所(園)ごとに食育推進計画作成	○	全市施設	全市施設		継続実施
イ 朝食実態調査の実施	○	(ア)全施設で実施 実施予定：11月 (イ)朝食メニューの紹介	(ア)全施設で実施 朝食やおやつ、午睡時間、アレルギーなど 実施予定：11月 (イ)朝食メニューの紹介 試食会や保護者会のほか、給食だよりで年5回紹介した		継続実施
ウ 幼児肥満等発育調査の実施	○	(ア)全施設で実施(31か所) (イ)要指導児童の保護者に食指導 (ウ)身長体重曲線グラフの活用	(ア)全施設で実施(32か所) 実施：6月 対象：3、4、5歳児 (イ)要指導児童の保護者に食指導の実施 (ウ)身長体重曲線グラフの活用		継続実施
エ 幼児肥満予防講座の開催	○	実施予定：11月頃実施予定 対象：保護者及び保育士 内容：医師講話、運動紹介 ※市内保育所・児童館・幼稚園 39か所に案内配布	実施：11月24日 対象：保護者及び保育士(75名) 内容：医師講話、実践発表 ※市内保育所(園)・児童館・幼稚園・小学校 63か所に案内配布		11月頃実施予定 (肥満予防講座・教室の実施)
カ 野菜作り体験	○	継続実施	保育所のプランターや園庭、畑などを借りて積極的に実施している。		継続実施
キ 調理体験保育	○	対象：5歳児 ※各保育所が随時実施	実施		継続実施
ク 生産者との交流	○	三条・栄地区：4か所で実施予定	(ア)実施時期：12月・1月 (イ)実施施設：3施設(月岡、裏館、福多保育所) (ウ)内容：保育所給食で使用している、たい菜漬や大根の甘酢漬の作り方を生産者から話を聞き、一緒に会食をする。		継続実施
ケ 地元農産物を活用した給食の実施	○	(ア)給食メニューを玄関に展示 (イ)使用食材の展示 (ウ)レシピの配布 ※各保育所で実施	(ア)毎日実施 (イ)季節の旬の食材や珍しい食材の展示 (ウ)給食だよりで紹介 ※各保育所で実施		継続実施
コ 給食だより活用	○	食育や給食の献立紹介	実施		継続実施
サ 試食会時の食育講話	○	各保育所で随時実施	延べ49回、保護者716人に対して実施		保育所が開催する試食会等で保護者に食育講話をする。

項目	平成 21 年度				平成 22 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
シ 食育講座の実施	○	(ア)全施設で実施(31 か所) (イ)時期：5月から3月まで (ウ)対象：保護者と5歳児 (エ)内容：児童が栽培し、収穫した農産物等を使用して調理実習を行い、保護者に食育講話を行う。	内容：講話、親子で調理実習（カレーの材料などを切るなど調理体験） 対象：保護者と5歳児 実施施設：31 か所(延べ33回) * 児童延べ697人、保護者延べ652人が参加		継続実施
ス ごはん量調査の実施	○	(ア)全施設で実施 (イ)試食会、保護者懇談会等でごはん量の展示	(ア)全施設で実施 調査時期：6月、11月 対 象：3、4、5歳児 (イ) 試食会、保護者懇談会等でごはん量の展示を実施		継続実施
セ 私立幼稚園への啓発活動	○	(ア)催物の案内配布 (イ)食育推進の啓発資料など配布	(ア)実施 (イ)私立保育園との懇談会実施 期日：1月14日 参加数:6園 内容：幼稚園における食育の取組について		継続実施
ソ 保育所巡回指導	○	(ア)全施設で実施 (31 か所) (イ)時期：5月から3月まで (ウ)回数：1施設月1回巡回指導 (エ)内容：5歳児を中心に食品カードを活用し、食品の三色分け等を指導	(ア)全施設で実施 (32 か所) (イ)時期：4月から3月まで (ウ)回数：延べ301回、6,881人の児童と関わる。 (エ)内容：5歳児を中心に食品カードを活用し、食品の三色分け等を指導		(ア)全施設で実施(32 か所) (イ)時期：5月から2月まで (ウ)回数：1施設月1回程度 (エ)内容:各保育所の巡回指導計画に添い、3・4・5歳児を中心に食指導を行う。
タ 指導者食育研修会	○	実施：5月12日 対象：保育士等 内容：講話及び実技指導 ※市内保育所・児童館・幼稚園 39か所に案内	実施：5月12日 対象：保育士等 (34名) 内容 ○講話及び実技指導「畑やプランターを利用した野菜作り ～春の苗植え～」 ○講師：新潟県三条地域振興局農業振興部普及課 普及指導員 遠藤厚志様 ※市内保育所・児童館・幼稚園 39か所に案内		実施：5月11日 対象：保育士等 内容 ○講話及び実技指導「畑やプランターを利用した野菜作り ～春の苗植え～」 ○講師：新潟県三条地域振興局農業振興部普及課 普及指導員 遠藤厚志様 ※市内保育所・児童館・幼稚園 39か所に案内

(3) 学齢期

項目	平成 21 年度				平成 22 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 各学校食育推進計画作成	○	市内全小中学校に作成要請	市内全小中学校で作成	年間及び月間計画	市内全小中学校に作成要請
イ 学校食育推進事業	○	<p>○血液検査対象者 全小学校 5 年・全中学校 1 年</p> <p>○事後指導（全 28 校） 対象校区：三中、四中、本成寺中、大崎中、大島中、栄中、下田中、第二中学校</p> <p>○事後指導の内容 個別指導 食育授業 食育講話・講演会 親子食育教室 保育所児童との交流会</p>	<p>○血液検査等 検査項目：貧血・脂質代謝・肥満 全小学校 5 年（964 人） 全中学校 1 年（987 人）</p> <p>○事後指導 対象校区：三中・四中・本成寺中・大崎中、大島中・栄中・下田中・第二中学校</p> <p>○指導内容 個別指導：28 校 児童生徒 354 人 保護者 639 人 食育授業：小学校 29 学級 中学校 28 学級 食育講話・講演会：27 校 児童生徒 1,375 人、保護者 239 人 親子食育教室：18 校 児童 600 人、保護者 289 人 保育所児童との交流会：小学校 6 校</p>		<p>○血液検査対象者 全小学校 5 年・全中学校 1 年</p> <p>○事後指導（全 33 校） 対象校区：一中、二中、三中、四中、本成寺中、大崎中、大島中、栄中、下田中</p> <p>○事後指導の内容 個別指導 食育授業 食育講話・講演会 親子食育教室 保育所児童との交流会</p>
ウ 指導者食育学習会開催	○	<p>実施 内容は未定</p>	<p>実施日：2 月 16 日 対象：教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員等 参加者：51 人 内容： ○ 講演「子どもが作る弁当の日を実践して」 講師 新潟市味方中学校 校長 小林恵子様</p>		<p>実施 日程、内容は未定</p>
エ 学校栄養職員を授業者とする食教育実施	○	継続実施	小学校述べ 71 学級、中学校述べ 24 学級で実施		継続実施
オ 給食時間実態調査	○	調査	小学校 42.9 分、中学校 34.4 分		調査
カ 食農教育実施	○	<p>(ア)教育田等の活用 (イ)生産者による食農教育の実施状況把握 (ウ)生産者交流会実施</p>	<p>○小学校水稲 23 校 ○生産者による食農教育（未集計） ○生産者交流会 小学校 13 校、中学校 1 校で実施</p>		<p>(ア)教育田等の活用 (イ)生産者による食農教育実施状況把握 (ウ)生産者交流会実施</p>
キ 米を主食とした給食の実施 （日本食基本）	○	<p>(ア)地場農産物の活用 (イ)完全米飯給食の実施 (ウ)給食時の牛乳飲用について検討継続</p>	<p>(ア)実施 (イ)完全米飯給食実施 (ウ)検討中</p>		<p>(ア)地場農産物の活用 (イ)完全米飯給食の継続実施 (ウ)給食時の牛乳飲用について検討継続</p>
ク 給食試食会開催	○	継続実施	食育講話を小学校 25 回、中学校 1 回実施		継続実施
ケ 給食だより活用	○	食育や地産地消に関する記事を掲載	実施		継続実施

(4) 青年期

項目	平成 21 年度				平成 22 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 料理教室の開催	○	市内県立高校養護教諭と企画	市内県立高校養護教諭と企画		夏休みダイエット講座とあわせて開催
イ 食に関する啓発活動	○	食育授業の実施 ○対象 県立県央工業高校 3 年生 ○日程 6 月 22・24・25・26 日 文化祭等で食事バランスについて展示	食育授業の実施 ○対象 県立県央工業高校 3 年生 175 人 ○日程 6 月 22・24・25・26 日 ○内容 食生活の自立について		継続実施
ウ 夏休みダイエット講座開催	○	市内県立高校養護教諭と企画	市内県立高校養護教諭と企画		スマート&ウェルネス PROJECT ○対象 市内在住の高校生と市内公立 高校在学学生 ○実施日 夏季休業中の 1 日 ○内容 食に関する講話、調理実習、運 動実習

(5) 妊娠期

項目	平成 21 年度				平成 22 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 妊婦対象の栄養相談会を開催	○	開設健康相談会と併せて実施	解説健康相談会と併せて実施		随時実施
イ 妊婦教室開催	○	教室見直しにより、マタニティ教室は月 1 回実施となる。(第 二コース終了)	マタニティ教室にて、バランス食の集団 指導及び食生活チェック実施 (年 12 回 延べ 122 人)		22 年度からパパママ教室に変更。隔月実 施となる。

(6) 壮年期

項目	平成 21 年度				平成 22 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 食事・栄養相談の実施	○	電話・来庁による食生活相談	実施		随時実施
イ 基本健康診査結果説明会時の指導及び健康相談会実施	○	(ア)特定健診結果説明会 (イ)糖尿病予防教室 (ウ)生活習慣病予防教室 (エ)骨粗しょう症健診事後指導会	(ア)特定健診結果説明会(48回) (イ)糖尿病予防教室(9回) (ウ)生活習慣病予防教室(6回) (エ)骨粗しょう症健診事後指導会(3回)		(ア)特定健診結果説明会 (イ)糖尿病予防教室(9回) (ウ)生活習慣病予防教室(6回) (エ)骨粗しょう症健診事後指導会(2回)
ウ 食生活改善推進委員及び健康推進員の地区活動の支援と連携	○	(ア)生活習慣病予防講習会 (イ)男の料理教室 第一中学校区、第三中学校区 (ウ)栄養改善講習会（下田・栄地区にて開催）	(ア)生活習慣病予防講習会(各中学校区で実施) (イ)男の料理教室 a 第一中学校区（2回実施） b 第三中学校区（1回実施） (ウ)栄養改善講習会実施 栄地区5か所、下田地区10か所		継続実施
エ 運動教室における食生活指導実施	○	栄養指導実施 三条地区は地域活動栄養士に依頼 栄・下田地区は継続	集団指導と個別食事相談を実施		継続実施
オ 地区組織育成 (食生活改善推進委員協議会 健康推進員協議会)	○	(ア)栄養教室 全8コース (イ)育成のための研修会開催 年2回	(ア)栄養教室修了生 19人 (イ)研修会 第1回 5月29日、第2回 12月1日、 第3回 2月15日		(ア)継続実施 (イ)研修会は年3回計画

(7) 高齢期

項目	平成 21 年度				平成 22 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 食生活相談会実施	○	(ア)電話・来庁による食生活相談 (イ)簡単バランス献立作成・紹介	実施		随時実施
イ 在宅給食サービス事業支援	○	(ア)地域活動栄養士に依頼 (イ)継続実施	(ア)実施 (イ)希望者なし		継続実施
ウ 食生活改善推進委員及び健康推進員の地区活動の支援と連携	△	(ア)地域いきいきセンター通所者への食生活相談 (イ)老人会やシルバー人材センター会員への食に関わる講習会(年1回) (ウ)男の料理教室開催（第一、第三中学校区食推主催）	(ア)未実施 (イ)栄・下田地区老人会で栄養改善講習会として8回実施 (ウ)男の料理教室開催 第一、第三中学校区食推主催で併せて3回実施		継続実施

(8) 地産地消

項目	平成 21 年度				平成 22 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 給食地元農産物利用促進事業	○	生産者、農協、納品業者、学校給食調理場等の関係者と連携し、地元農産物の年間使用計画を立て、毎月打ち合わせ会をもちながら、取組を進める。	三条産品利用について毎月1回程度打合せ会を実施（全30品目） 品目ごとに目合わせを実施（きゅうり2回、じゃがいも2回、たまねぎ1回実施）		継続実施
イ しみん朝市仲間の会活動支援	○	三條機械スタジアムで実施 継続支援	5月から12月開催 初日や最終日のイベント協力、打合せ会や総会等の開催支援、広報掲載等		継続実施
ウ 地産地消の意識啓発	○	広報・ホームページ・出張トーク	食育メールの中で取り上げ、ホームページ掲載 広報さんじょうに「旬のたより」掲載		継続実施
エ 直売市のネットワーク化	○	直売所等の情報交換会を開催する	2回実施	農業活性化プランにて	継続実施
オ 地産地消懇談会	○	地産地消懇談会の実施	懇談会期日：2月26日 参加者：31名(生産者26人、保育所・学校給食共同調理場調理士5人) 内容：1)講話「地産地消と学校給食について」 講師 経済部農林課長 2)懇談会		継続実施

(9) その他

項目	平成 21 年度				平成 22 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 三条市食育推進及び農業振興審議会開催	○	年 2 回開催	第 1 回 5 月 28 日 第 2 回 2 月 23 日		年 3 回実施予定(5 月、11 月、2 月)
イ 啓発活動 (ア)しみる食育のつどい開催	○	10 月 17 日(土)開催予定 我が家自慢のおかずコンテスト、講演会等	<p>条例周知のため、4 回シリーズで開催</p> <p>○第一弾 日時：9 月 7 日(月) 会場：中央公民館 内容：講演「自然がくれた人間力」 講師 タレント 高木美保様 参加者数：510 人</p> <p>○第二弾 日時：10 月 17 日(土) 会場：三条市農村環境改善センター 内容：弁当にピッタリ！我が家自慢のおかずコンテスト最終審査・表彰式 講演「子どもが作る弁当の日で何が育つか」 講師 香川県綾川町立綾上中学校 校長 竹下和男様 パネルディスカッション 参加者数：250 人</p> <p>○第三弾 日時：11 月 16 日(日) 会場：嵐南公民館 内容：講演「食卓の向こう側」 講師 西日本新聞社 佐藤弘様 パネル展 参加者数：160 人</p> <p>○第四弾 日時：2 月 21 日(日) 会場：三条燕地域リサーチコア 内容：講演「ふるさと村上鮭ものがたり」 講師 味匠喜っ川社長 吉川哲鮭様 パネルディスカッション 参加者数：260 人</p>		三条まんま塾（食と農の連携協議会）へ委託
(イ)市民給食試食会開催	○	秋に開催予定 会場：総合福祉センター	日時：10 月 7 日(水) 会場：総合福祉センター 参加者数：113 人		11 月に開催予定 会場：総合福祉センター
(ウ)出張トーク等実施	○	随時実施	11 回実施		継続実施
(エ)広報・ホームページ活用	○	食育メール(毎月実施)	毎月実施		継続実施

項目	平成 21 年度				平成 22 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ウ 食の循環、生ごみリサイクル堆肥化事業支援	○	継続実施	保育所や直売市関係者にバイオマス肥料を紹介		継続実施
エ その他の活動	○	各公民館で食に関する講座を開催 中央公民館(農業体験講座 5月～11月) 嵐南公民館(ひまわり専科等) 井栗公民館(男の料理教室等) 本成寺公民館(料理教室等) 大崎公民館(男の料理教室等) 保内分館(いきいき健康づくり講座等) 大島公民館(旬のおいしい料理教室等) 栄公民館(子供料理教室) 下田公民館(男の料理教室等)	各公民館で食に関する講座を開催 中央公民館 11回 延べ179人 嵐南公民館 12回 延べ246人 井栗公民館 14回 延べ138人 本成寺公民館 13回 延べ128人 大崎公民館 27回 延べ281人 保内分館 3回 延べ49人 大島公民館 16回 延べ176人 栄公民館 6回 延べ125人 下田公民館 5回 延べ48人		各公民館で食に関する講座を開催 中央公民館(みんなで農業体験講座) 嵐南公民館(ひまわり専科等4講座) 井栗公民館(お弁当作り講座等4講座) 本成寺公民館(季節の料理教室等7講座) 大崎公民館(男の料理教室等4講座) 大島公民館(チャレンジクラブ等5講座) 栄公民館(女性セミナー等2講座) 下田公民館(こども料理教室等3講座)
オ 食育推進計画進捗状況の把握	○	各種調査の実施	乳幼児健診時食生活調査 幼児肥満等発育調査 保育所ごはん量調査(年2回) 学校給食残量調査 子どもの生活実態調査 学校給食時間調査 給食地元農産物使用量調査		継続実施